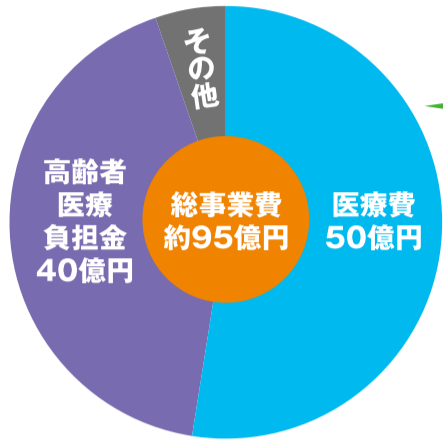


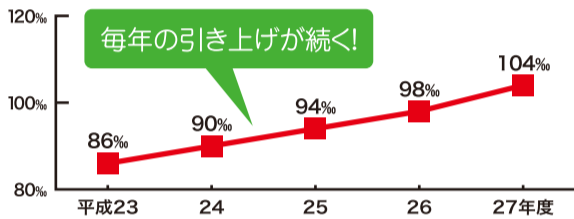
「データヘルス計画」 「日本再興戦略」に盛り込まれた国策

ユニーグループの従業員とその家族のみなさまの「健康保持・増進」をキーワードに、今年度から取り組みをスタート!

ユニーグループ健康保険組合
けんぽかわら版
号外



当健保組合の財政状況
総事業費の9割以上を医療費と高齢者医療負担金に支出!



ユニーグループ健保の財政も年々苦しく

膨張する社会保障費 過去最高31.5兆円!

超高齢化社会の到来により、社会保障費を誰がどのように負担して社会を支えていくのが大きな問題となっており、「社会保障と税の一体改革」として政治の中心課題にもなっています。このような中、平成27年度国家予算の社会保障費は、31兆5300億円と過去最高になりました。

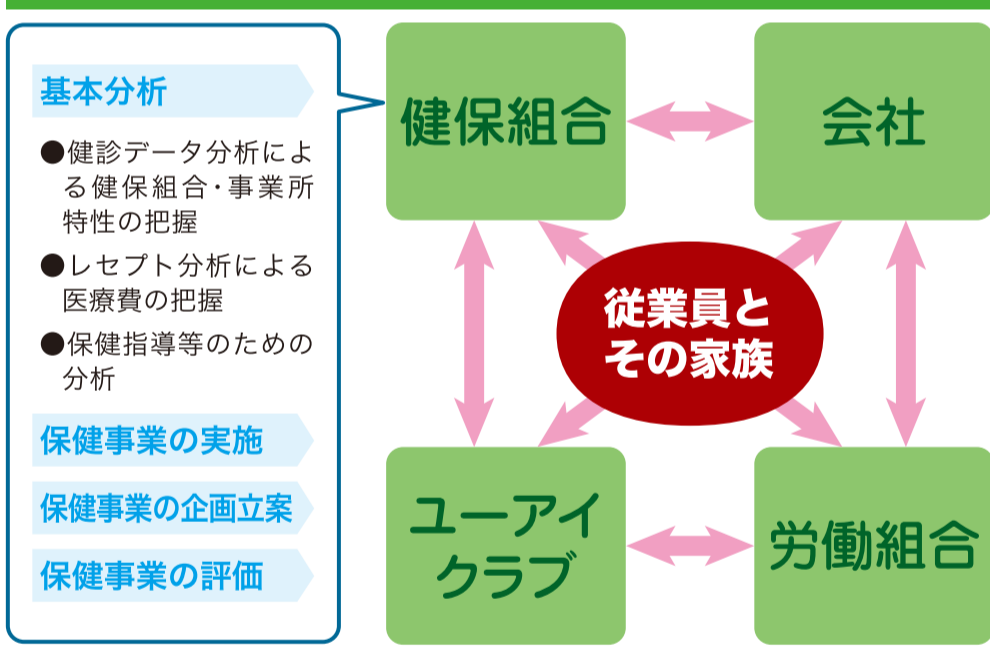


データ分析に基づき、より効果的な保健事業へ

「データヘルス計画」のメリット

- 従業員・家族にとって**
個人に合った健康サポートを受けられる
健康保持・生活の質の維持向上につながる
- 会社にとって**
生産性・作業効率が向上する
企業の活力維持につながる
- 健保組合にとって**
医療費の適正化につながる

「データヘルス計画」のイメージ



「データヘルス計画」では、各種健診とレセプト(受診記録)のデータを活用して、一人ひとりに合った、より効果の高い保健事業を計画・実行していくことになります。

たとえば、血糖値や血圧が高く医療機関の受診が必要な人に受診を促すなど、各保健事業について効果が高いと考えられる方法を明らかにして、特定健診・特定保健指導とあわせて取り組みます。成功のカギを握るのは、健保組合と会社との連携です。会社の理解と協力なしには、効果的な保健事業は進められません。

データヘルス計画を通じて「からだ」「こころ」「健康を」これまで以上にサポート!

健保組合が実施する健康づくり事業の有効活用を!

平成27〜29年度の3カ年計画で実施!

右記の取り組みは、事業主と連携して、通知やキャンペーンを順次実施していきます。詳細については、今後ホームページやけんぽかわら版でご案内します。

- ### 当健保組合の取り組み
- ① ジェネリック医薬品の差額通知
 - ② 健診異常値放置者への受診勧奨
 - ③ 糖尿病性腎症の重症化予防
 - ④ 特定健診の受診勧奨
 - ⑤ 呼吸器系疾患対策
 - ⑥ 歯科医療費対策
 - ⑦ 慢性閉塞性肺疾患の早期発見対策
 - ⑧ 重複服薬者への受診行動適正化指導
- 労働安全衛生法の改正により平成27年12月より実施
● ストレスチェック義務化の対応
- データヘルス計画の取り組みや個人情報の取り扱いについては、健保ホームページをご覧ください。
今後も随時、「データヘルス計画」を更新し、取り組み内容をご案内していきます。

ユニーグループ健保のデータヘルス計画は?

モデル組合として認可

全国1,410の健保組合のうち、データヘルス計画のモデル健保52組合(大手自動車メーカーや一部上場企業の健保組合)の一つとして当健保組合が選ばれ、「データヘルス計画書」を以下の内容で提出しました。